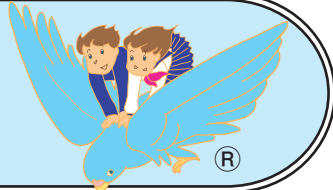


# 君とつばさ



令和6年5月20日  
 発行・公益財団法人 交通遺児育英会  
 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-1  
 (電話) 03(3556)1789  
 (HP) https://www.kotsujii.com

©交通遺児育英会

## 東京 関西 心塾で入塾式

### 東京で3年ぶり記念植樹



今春、大学、専門学校などに進学した交通遺児育英会の奨学生19人(東京6人、関西13人)が東京、関西の学生寮「心塾」に入塾し、4月に入塾式が行われた=写真①東京②関西。式典には石橋健一会長ら役員と在塾生らが出席、新入生を歓迎した。新しくなった東京寮では建て替え工事期間の中断を経て、3年ぶりに3年度分の記念植樹が行われた。東京、関西の心塾生は新入生を含めて計88人になった=4月1日現在。(2、4面に関連記事)



## 無料出張講演に延べ5000人

### 10年間36回DVD講演が定着

交通遺児育英会が全国で開催している無料出張講演の受講者が、2014年から昨年度末までの10年間(36回開催)で延べ約5000人になった。昨年度1年間だけで計17回開かれ、1400人余が受講した。コロナ以降、DVD上映による講演形式が定着しつつある。講演では企業・団体、学校などの依頼に応じて交通事故被害者遺族が自らの体験を語り、事故の悲惨さを訴えて交通ルールを守ってほしいと訴えている。当初は保護者や奨学生が現地を訪問していたが、コロナ禍による中断を機に当会は講演を収録したDVDを作製。22年6月に再開されて以降、DVDを使った講演が増え、受講者は遺族の声に響きやすくなった。今年度は既に19回の開催(4月5日現在)が予定されている。(2面に受講者の感想を掲載)

# 歴史を学び、正しい道を見つけること



## 入学おめでとう

交通遺児育英会会長

石橋 健一

進学、進級おめでとう。皆さんそれぞれの専攻分野で、今までに蓄積された知識をしっかり学び、さらにその知識を一步前に、一段の高みに進めることができるよう頑張ってください。

私は本とか新聞とか読むことが好きで、絶えず何かを読んでいます。気がなることか、忘れてはいけないことがあると切り抜いてスクラップしたり、傍線を引いて付箋を付けます。段ボール箱はすぐにスクラップでいっぱいになるし、読む本はすべて傍線と付箋だらけになります。

今日は古い新聞の切り抜きを見ていて、これについては納得できないという記事を見つけたので、それについて書きたいと思います。

皆さんは太平洋戦争について、どれだけ知っていますか？知らないのであれば、周りの大人たちに聞いてみてください。そしてこの戦争が世界にどれだけの大きな影響を与えたかについて、あなたなりの考えを巡らせてみてください。

今日は、我が国でこの戦争について、二度と同じ過ちを犯さぬようにと後の世代にどのように伝えられてきたのか、一つの新聞記事から考えてみました。去年の終戦の日を前にした8月11日付の『朝日新聞』社会面の記事です。

1941(昭和16年)12月8日の日本軍の真珠湾攻撃から始まった太平洋戦争の犠牲者は日本で310万人。アジア全体では2000万人という説もあるがはっきりしない。という記述の後、2015年に朝日新聞社が日本とドイツで実施した世論調査について次のように記されています。

『戦時の歴史を学校で』

「戦時の歴史を学校で」は恥ずかしい限りです。後段の戦争に関わりのない世代に「謝罪を続ける宿命を背負わせるはならない」という内容に「共感する」とした人が63%の高率ですが、私はそう簡単にはなりません。我が先祖が無謀な戦争を起し、我が国やアジアの罪の多い多くの人を死に至らしめたその罪について、残された我々に「謝罪を続ける宿命を背負わせるはならない」などと言ってもらいたくはありません。

念のため、この一節全文をみると次のようになります。

「日本では、戦後生まれの世代が、今や、人口の八割を超えています。あの戦争には何ら関わりがない、私たちの子や孫、そしてその先の世代の子どもたちに、謝罪を続ける宿命を背負わせるはなりません。しかし、それでもなお、私たち日本人は、世代を超えて、過去の歴史に真正面から向き合わなければならない。謙虚な気持ちで、過去を受け継ぎ、未来へと引き渡す責任があります」

原文では「謝罪を続ける宿命を背負わせるはならない」に続けて、「世代を超えて、過去の歴史に真正面から向き合わなければならない」とあります。そのためには「なぜ謝罪しなければならないか」を、後世にしっかりと伝えていくことが不可欠のはずですが、先の世論調査の数字が示すように、歴史教育ひとつとっても心もとない現実があります。

そもそも先人たちが非道な戦争を起したのは明らかで、歴史的事実ですから、それが内外に引き起こした悲惨な結果に対して、後の世代は既に「謝罪を続ける宿命を背負わされている」のであって、談話における後の世代に「謝罪を続ける宿命を背負わせるはならない」という一節は無意味な論(たわごと)なのです。

先祖の犯した罪をはっきり認め、忘れずに記憶にとどめ、胸に贖罪の気持ちを持ち続けることができこそ、過ちを繰り返さず、過去に迷惑をかけた人たちの子孫と顔を合わせて、ともに前に進めるのではないかと思います。

「どんな本を読みましたか?」よくある問いではあるが、文部科学省の調査によると、21歳の若者の6割が全く本を読まないそう(2022年「21世紀出生児縦断調査」)。調査は01年生まれの子から対象者を選び、継続調査によって変化を調べ、教育施策に役立てる。今回は約2万2000人が回答した。「この1カ月」に読んだ紙の書籍(本)の数を尋ねたところ、「0冊」が62.3%。電子書籍では実に78.1%。「4冊以上」が紙・電子ともに6%前後であったものの、「この子は全く活字を読まないか、月に何冊も読む子の両極端です」とある公立高校の国語教師は頭を抱えていた。

▼読書は他者の価値観、世界観に触れ、異なった考え方を知ることができ、自己を見つめ直し、進路を考えるヒントをくれる。本は未知なる世界への扉を開き、想像力を育む。読まずじまいはもったいない▼5月は図書館の振興月間だとか。かのアインシュタインは言う。「あなたが知るべき唯一のものは図書館の場所である」。この春、新しい学校へ、社会へと飛び込む奨学生にはきっと多くの出会いがあるはずだ。運命の「出会い」は何も人に限らない。生涯、あなたに寄り添う一冊と巡り合えますように。



# 令和6年度事業計画を決定

## 英語検定費用全額補助、浪人受験生支援

交通遺児育英会は3月14日に開いた第39回通常理事会で、令和6年度の事業計画を決めた。

今年度はかねて要望が寄せられていた英語検定試験の費用補助制度、浪人受験生への進学支援金制度を創設。修学支援を拡大した。また、社会的課題となっている18歳未満で家族の介護を担う「ヤングケアラー」の支援についてもアンケートによる実態調査を踏まえ、具体的な支援策を検討する。さらに、交通遺児家庭や支援者層に向け、知名度・認知度向上を図るための広報活動を充実させる。

### 【事業計画の概要】

#### ◆奨学生の採用

新規・継続を合わせて高校(高専を含む)219人、大学(短大を含む)487人、大学院22人、専修学校107人、各種学校3人―計838人と、昨年度比52人減となる見込み。交通事故死傷者の減少や少子化、国の支援制度の浸透などを背景に、採用減の傾向が続く見通し。今年度の奨学金は貸与3億4100万円、給付1億6400万円の計5億500万円を見込んでいる。

#### ◆支援の拡大(英検補助、浪人生支援)

奨学生が受験する英語検定試験(7検定対象)の受験料を全額補助する。受験回数、金額の上限は設けない。また、今年度から、志望校への入学がかなわず浪人生となった

開催。高校奨学生対象の海外語学研修は27人を米国へ派遣する。

#### ◆事業資金の強化

一般寄付、遺贈を合わせて前年度並みの8億5000万円の寄付収入を見込む。全国9地区の広報重点エリアと連動し、支援者層拡大へ向けて多角的な募金活動を展開する。また、遺贈の受け入れに関して関係機関への働きかけを強化。さらに新聞・雑誌などを通して遺贈の受け入れを積極的に広報する。

#### ◆広報活動

ホームページの改善、SNSの積極利用で情報発信に努めるなど、知名度・認知度の向上を図る。同時に無料出張講演などを通して当会の成り立ちや活動内容、交通遺児家庭への理解を深め、支援

者層の拡大に注力する。  
6年度予算  
11億6700万円

令和6年度予算は、經常収益として財産運用益2億2400万円と受取寄付金8億5000万円、学生寮運営収益1700万円の計10億9100万円を見込む。

経常費用は事業費10億8300万円に管理費8400万円を加えた計11億6700万円。差し引き当期經常増減額は7600万円の赤字となる。このため、正味財産の期末残高は7600万円減の319億3100万円となる見込み。

## 「成長への願い」若木に込めて



新入塾生が学生生活の無事と成長を願う記念植樹が3年ぶりに行われ、敷地内にある「記念樹の小径」にコニファー(エメラルドグリーン)を植えた=写真。同時に、新寮の工事期間に入塾した2022、23年度の入塾生もイロハカエデ、楷の木(学問の木)をそれぞれ植樹した。

## 自分もさらに成長 コロナ感染で知る 「日常」の大切さ

2年 藤田浩夫  
振り返ると、高校生になってからの1年間は、いろいろなことがありました。勉強は難しく、授業に追いつくのに必死でした。それでも新しい友だちができた、部活動に入ったりと充実した毎日を送っていました。

そんな中、私は新型コロナウイルスに感染しました。病気の辛さはニュースなどで聞いていましたが、実際に体験するととても辛く、さらに辛かったのが後遺症です。ベッドから起き上がれず、トイレに行くのも一苦労で、食事がとれない時期もありました。

## 高校生の声

本当に、皆には感謝してもしきれません。そして学校に戻って気が付いたことがあります。コロナにかかる前は、授業を受けるのが当たり前で、いつも「早く授業が終わらないかなあ」と考えていました。しかし、復帰してからは授業を受けられるのが当たり前で、いつも「早く授業が終わらないかなあ」と考えていました。しかし、復帰してからは授業を受けられるのが当たり前で、いつも「早く授業が終わらないかなあ」と考えていました。

## 「留学」大会「勉強」自分史上一番の年力強くもつと前へ

3年 中村太一  
私は昨年の1年間で、いくつかの「初めて」を体験しました。一つめは「留学」です。夏休みに交通遺児育英会が主催する米国での海外語学研修に参加しました。初めての留学にわくわくしながらも、英語でしっかり会話ができるかどうか、とても不安で緊張したことを覚えています。ホームステイを通じ、日本とは異なる生活様式や文化を学びました。観光

地を巡ったり、ショッピングをしたりとアミューズメントも多く、記憶に残る最高の体験でした。二つめは「大会」です。私は現在、高校で山岳部に所属しています。毎年5月に実施される県大会に、2年生になり初めて参加しました。他の運動部の大会とは違って、筆記試験、調理、体力勝負などたくさんある項目があり、大会準備も含めて大変で難しかったです。その一方で、チーム戦ならではの仲間との大切さ、ありがたみを感じられてよい体験になりました。三つめは「勉強」です。1年生の時成績も右肩

## 出張講演を聴いて

講演を聴いて初めて「あしながおじさん」を知りました。大切な人と過ごす日常は当たり前じゃない、と思いがちな日々を過ごしたいです。

とても胸が熱くなりました。当事者の方の声というのは、こんなに説得力があるのかと打ちのめされました。奨学生やそのご家族の声に耳を傾けることを大切にされているんだなと伝わりました。

気持的にも行動的にも、少しの余裕が持てる人間になろうと思えます。交通遺児育英会の活動も知ることができてよかったです。

## 講演の申し込みを受け付けています

交通遺児育英会ではDVD等による全国無料出張講演の申し込みを受け付けています。申し込み、内容に関する詳細は当会ホームページ(https://www.kotsuji.com)、または電話(03-33555611)までお問い合わせください。



# 米国語学研修生27人決まる

## 今夏にカリフォルニア州・テメキュラで

高校奨学生を対象とした交通遺児育英会の令和6年度海外語学研修に参加する研修生27人が決まった。研修はコロナ禍による中断を経て昨夏、4年ぶりに再開された。

3月に作文などの書類選考を通過した高校生の面接審査が東京、大阪であり、参加者27人が決まった。今夏、約3週間の日程で前回と同じ米カリフォルニア州・テメキュラで学ぶ。現地家庭に1人もしくは2人でホームステイしながら語学学校に通い、併せて課外プログラムなどをこなす予定。参加にあたっては、原則として英検3級（中学卒業程度）以上と同等の英語力（コア）が必要。TOEICの場合、300点以上が参加資格となる（TOEICは受験予定者も可）。今回、多くの高校生が概ね英語能力の資格要件を満たしており、面接時点で英検3級10人、準2級（高校中級程度）9人、2級（高校卒業程度）を3人が取得。幼少期に英語塾に通っていたり、修学旅行や家族旅行などで海外渡航経験がある参加者も目立った。面接では英語による自己紹介に加え、アレクシーの有無などについて確認



上の写真は語学学校での授業のようす。右下は米大リーグ・エンゼルスホームスタジアムで(いずれも昨年度の語学研修から)

した。高校生からは「英語のコミュニケーション能力を高めたい」「異文化を学ぶことで将来の可能性が広がる」など語学研修への期待が聞かれた。また、「外国人旅行者に英語で道を尋ねられたが、答えられず残念な思いをしたから」など参加の動機につながるエピソードを話す高校生もいた。

研修生は7月22日に羽田空港を出発し、8月12日に帰国する予定。



研修生は7月22日に羽田空港を出発し、8月12日に帰国する予定。

### 語学研修参加者のみなさん(順不同、敬称略)

内山 颯大(1年)	兵庫	原 和可奈(3年)	山口	佐藤 祐愛(2年)	東京
島田 方鈴(2年)	兵庫	H . E (3年)	兵庫	柴田 花林(1年)	愛知
中村 美遥(2年)	岐阜	中武 大雅(1年)	福島	西田 湊(1年)	愛知
篠原 越(1年)	兵庫	大塚愛里奈(3年)	岐阜	吉備 虹春(2年)	兵庫
丸野 楚空(1年)	鹿児島	小野田いおな(2年)	愛知	藤本 旭(2年)	大阪
蒲田 七彩(3年)	東京	竹前 伯飛(2年)	長野	市川 麗紗(1年)	宮城
太田 華凜(1年)	大阪	瀬田 汐夏(3年)	埼玉	山本 陽土(1年)	福岡
山口 真由(3年)	神奈川	水上 遥翔(2年)	群馬	保科 実(2年)	東京
野上 苺花(3年)	熊本	平野 真瑚(2年)	岡山	富永 真姫(2年)	千葉

## 大和市交通安全3団体心塾「新東京寮」を視察



心塾生2人の話を聞く大和市の交通関係団体の皆さん

### 心塾は「希望の光」

参加者から「交通事故で家族を失いながら、どうやって希望を見つけ、前向きになれるのか」と聞かれると、道下さんは「事故直後は社会に対して不信感が芽生えたこともあったが、過去を乗り越え、自分の未来のために上京した」として、心塾について「交通遺児同士で話をする中で視野を広げることができた。自分にとって心塾は、希望の光です」と応じた。

吉田さんも「物心ついた時には父はいなかったが、同じ境遇の学生が暮らす心塾では、他の友人に話しかけることも話すことができた。そんな環境にすいふんと助けられた」と答え、参加者から温かい拍手と「頑張っ」など励ましの言葉が贈られた。

その後、参加者はイベントホールやラウンジ、食堂など施設内を見学

### 奨学生募集中

神奈川県大和市で交通事故防止などの活動に取り組んでいる交通安全関連団体「交通安全母の会連絡協議会」「交通安全指導員連絡協議会」「シニアリーダー連絡協議会」のメンバー18人が3月19日、建て替え工事を終えて今春オープンした心塾東京寮(東京都日野市)を視察した。

一行は心塾塾長を務める大屋克文専務理事から交通遺児育英会の沿革や修学支援事業の概要などについて説明を受けた後、無料出張講演で使われる交通事故被害者遺族の体験談を収めたDVDを視聴。続いて、寮で生活



食堂など施設内を見学

### 交通遺児育英会人事

▽新任監事 宮本久也  
▽新任監事 甲田充彦  
▽退任監事 甲田充彦  
【評議員選任】  
▽新任評議員 曾山茂志  
▽西日本新聞社執行役員 東京支社長、富田悟史  
全日本自動車産業労働組合総連合会副事務局長、宮本信之  
▽退任評議員 梶島滋、戸村伸一郎、宮本久也

### 西鎌尾根



奨学生OB 園田 大二郎

## 寄生虫との闘いは未だ進行中

### 清浄島

河崎 秋子 著

感染しても気づかず、10年ほど経って男女の区別なく妊婦のように腹が膨れて命を落とす。寄生虫、エキノコックスの仕業だ。大正末期、日本海最北端の礼文島で起きた大規模山火事で幕を開ける。植林したナガシメの食害がひどく、千島列島で飼育された天敵のキツネが放たれる……。昭和29年、エキノコックス汚染地の同島に道立衛生研究所の若き研究員、土橋義明が派遣される。中間宿主のネズミや終宿主のキツネ、イヌ、ネコを剖検し、内臓に巣くう親虫、幼虫を見つけて出して感染経路を明らかにするのが任務だ。しかし、宿主動物の腹を割き続けても、いっこうに所期の成果は得られない。その後土橋に合流した調査団が野良のイヌ、ネコばかりか、飼いのイヌ、ネコの成果は得られない。その後土橋に合流した調査団が野良のイヌ、ネコばかりか、飼いのイヌ、ネコの成果は得られない。

井谷 昌喜 心塾東京寮読書感想文講師

### もう読んだ?

全頭駆除を提案。虫の生活の環が、一か所欠け、次の世代に繋げなくなるからだ。島民たちは泣く泣く飼いのイヌ、ネコの供出案をのむ。同島では徹底した対策を続けた結果、清浄地宣言を得る。だが、昭和40年以降、礼文島から遠く離れた根室釧路出身者から相次いで感染者発見の報が入る。土橋は根室市の対策協議会に礼文島の防疫対策を示すが、海を隔てられた島と違って野良、飼いの区別なくイヌ、ネコを全頭駆除するのは不可能に近い。土橋らの奮闘も虚しく、本州でも患者のほか野良イヌの糞から虫卵が相次ぎ確認され、防疫戦は未だ進行中だ。著者は史実をもとにしたフィクションと断わっている。土橋は処分された動物供養塔の前で犠牲になった宿主動物ばかりか、寄生虫にも手を合わせる。自然に対する畏敬の念を抱く著者の声と聞いた。



(双葉社 1980円)



# お母さんの背中

## 子どもがいたからして頑張れた

18年前の春、夫(享年32)を失った。その時、こう思った。「突然父を失った子どもの生活が大きく変わることはないように」。高校時代に取得した簿記の資格を生かし、会計事務所勤める上木千鶴代さん(58)。2人の息子は、当時まだ5歳と3歳。近くに住む弟夫婦の手も借りながら、しばらくは子育てに専念した。次男が小学生になり、時間に少し余裕が生まれた頃、独身時代に事務職員として勤め、結婚を機に退職した会社から「また働いてほしい」と声がかかった。

ただ、再び仕事をするにあたっては「幼い子どもたちの生活ができるだけ変わらないように」と心がけた。「働き方改革、子育て支援」といった言葉も聞かれない時代。それでも子どもの生活サイクルに合わせて「週の半分、午後3時までなら」と希望し、了承してもらった。

「子どもが帰宅した時には自分も家にいたい。ラッキーだったと自分でも思います」。以降、パート、派遣社員、業務委託契約など子どもの成長に合わせて条件を見直すなど働き方を変え、夫亡き後に決めた通りの「子ども中心」を貫いた。2人の息子も大学生になり、手がからなくなった今は正社員としてフルタイムで働く。

「父親がいなくなり、子どもたちが甘えられるのは私だけ。子ども中心の半面、母親って心配性ですから。『ダメなものダメ』とか、厳しく口出ししましたね。息子たちからは『よその家より厳しかった』とよく言われるが、他のご家庭では最後には父親が怒ってくれるけど、ウチはそうはいかなかったから」と諭してきた。

「遠くの親戚より近くの他人って言うでしょ。あれ、ほんとうね。弟夫婦を除けば、よき相談相手であり、多くの時間を共有してきたのはPTA活動や次男のサッカークラブで知り合ったママ友たちだ。部活の送り迎えや季節行事などを通じて培った結束は強い。「働くお母さんばかりで、仕事の合間に子どもの送迎やら打ち合わせをしたりと、とにかく忙しい。それでも皆、楽しいんですよ」幼稚園以来のつながりが続くママ友らとは数か月に一度、一緒に旅行に出かける間柄だ。京都、大阪、岡山、広島など近隣はほぼ「制覇」して、東京ではバスツアーにも参加した。

「子どもが小さい頃は遠出は無理でしたから。数か月先の予定を決めて、それを目標に仕事に励んでいます。子どもたちも早く送り出してくれます」

理師だった夫はメニュー開発など会社の新規事業立ち上げにかかわり、事故前の業務は多忙を極めた。「子どもたちが寝ている間に出勤して、寝た後に帰宅する毎日。最後に子どもたちと会ったのもごく数日前でした」事故前は午前4時に帰宅し、2時間ほど仮眠を取って再び車で出勤した。「6時に起こして」と言われたけれど、もうそ

のまま寝かせておこうかとも思った。でも、いつものことなので結局、起こして見送ったのが最後になりました」翌日未明、警察からの連絡で事故を知る。帰宅途中、バイパス道路の壁に衝突したが、夫はまだ生きていた。「携帯電話に110番、119番へのダイヤル履歴があったそうです。路上に停止していたところを後続の大型トラックに追突され、夫は亡くなった。帰宅途中の事故であり、労災認定は受けたが、サージス残業が常態化した挙げ句の居眠りによる過労死ではないか、との思いは今も消えない。夫の実家での葬儀を終えて帰

宅した後、長男に言われた。「お父さん、もう帰って来へんの?」

「どうや。何でかわかる?」。尋ね返すと、長男は「僕が守るから、3人で頑張ろな」と答えた。「びっくりしました。守るのはお母さんやろ、と思いがながら、でも子どもがいたからこそ頑張れたのは確か」

読経の時に涙がこぼれると、「また泣いてる」と冷めた表情で言われたこともある。「ホンマやな。いつまでも泣いとってしょうがない、と気が持たないやろ。子どもたちの将来は縛りたくない。『好きなところへ行っちゃえよ』と言ってます」

現在、長男は薬剤師、次男は理学療法士を目指して猛勉強中。長男は来春には社会へ巣立つ。「資格があれば、全国どこでも仕事はできる。子どもたちの将来は縛りたくない。『好きなところへ行っちゃえよ』と言ってます」

その家より厳しかった」とよく言われるが、「他のご家庭では最後には父親が怒ってくれるけど、ウチはそうはいかなかったから」と諭してきた。

「遠くの親戚より近くの他人って言うでしょ。あれ、ほんとうね。弟夫婦を除けば、よき相談相手であり、多くの時間を共有してきたのはPTA活動や次男のサッカークラブで知り合ったママ友たちだ。部活の送り迎えや季節行事などを通じて培った結束は強い。「働くお母さんばかりで、仕事の合間に子どもの送迎やら打ち合わせをしたりと、とにかく忙しい。それでも皆、楽しいんですよ」幼稚園以来のつながりが続くママ友らとは数か月に一度、一緒に旅行に出かける間柄だ。京都、大阪、岡山、広島など近隣はほぼ「制覇」して、東京ではバスツアーにも参加した。

「子どもが小さい頃は遠出は無理でしたから。数か月先の予定を決めて、それを目標に仕事に励んでいます。子どもたちも早く送り出してくれます」

理師だった夫はメニュー開発など会社の新規事業立ち上げにかかわり、事故前の業務は多忙を極めた。「子どもたちが寝ている間に出勤して、寝た後に帰宅する毎日。最後に子どもたちと会ったのもごく数日前でした」事故前は午前4時に帰宅し、2時間ほど仮眠を取って再び車で出勤した。「6時に起こして」と言われたけれど、もうそ

その家より厳しかった」とよく言われるが、「他のご家庭では最後には父親が怒ってくれるけど、ウチはそうはいかなかったから」と諭してきた。

「遠くの親戚より近くの他人って言うでしょ。あれ、ほんとうね。弟夫婦を除けば、よき相談相手であり、多くの時間を共有してきたのはPTA活動や次男のサッカークラブで知り合ったママ友たちだ。部活の送り迎えや季節行事などを通じて培った結束は強い。「働くお母さんばかりで、仕事の合間に子どもの送迎やら打ち合わせをしたりと、とにかく忙しい。それでも皆、楽しいんですよ」幼稚園以来のつながりが続くママ友らとは数か月に一度、一緒に旅行に出かける間柄だ。京都、大阪、岡山、広島など近隣はほぼ「制覇」して、東京ではバスツアーにも参加した。

「子どもが小さい頃は遠出は無理でしたから。数か月先の予定を決めて、それを目標に仕事に励んでいます。子どもたちも早く送り出してくれます」

### 上木千鶴代さん

会計事務所職員(兵庫県たつの市)



### 石橋会長ら祝辞 「義の心」大切に

4月に行われた東京・関西の心塾入塾式では、石橋健一会長が「学生時代は勉学と人格形成に努めてほしい」と祝辞を述べた。石橋会長は「先人が蓄積

してきた知見を吸収したうえで、さらに新しい何かを付け加えることを心がけてほしい」と話し、続けて「心塾」と命名した東大名誉教授の故・緒方富雄氏の言葉を引き、「心がない人とはだめになる。心を育ててほしい」と説いた。さらに「儒教で言う義の心を持って学生生活を

### ルール守り「自転車乗りの手本に

国内最古「日本サイクリング・クラブ」

警察庁のまとめによると、昨年中の自転車関連事故は7万2339件。前年より2千件余り増え、近年増加傾向にある。いわゆる「ながらスマホ運転」など新たな社会問題も生じており、自転車ユーザーには交通ルール、マナー順守の徹底が改めて求められている。

今年、創設から78周年を迎える国内最古のサイクリングクラブ「日本サイクリング・クラブ」(NCTC)の普及活動や定期サイクリングなどを開催し、自転車の魅力を伝えてきた。発足以来の会員数は約400人になるが、コロナ禍のため2020年以降、活動を休止。この間、旧来の活動・運営を見直し、新年度から再スタートした。



英国調スタイルでツーリングを楽しむメンバー(後列右から2人目が絆谷さん、前列左が坂本さん)＝2018年、千葉県でNCTCのホームページ(https://nctc70.amebaownd.com/)から

この機会にクラブ会計の繰越金から、必要経費を除いた全額を当会に寄付していただいた。前理事長の絆谷宏之さん(77)は「クラブは新たに生まれ変わりますが、これまで同じ交通体系の中で自転車を趣味として楽しませていただいた恩返しです」と話す。

今後のクラブ活動を担う坂本さんは「私たちはツーリングを通して、旅の道具としての自転車の楽しさを共有してきた。会員は自転車のルールを熟知していて、集団走行にも慣れていて、自転車乗りの手本となるべく、走り続けたいですね」と笑顔を見せた。







# あしながおじさんの広場



## 【2月】

交通事故の加害者になったことがあります。一生、事故のことは忘れません。少ないですが、いかようにもお役にたかせたい。

(大阪府N・Mさん)

◇

自分は学生の時、あまり勉強しませんでした。大人になってから「あの時、もっと勉強しておけば」と今さらのように思っています。微力ながら応援したいと思いたいです。しっかり勉強してください。

(青森県I・Yさん)

◇

毎月少しばかりですが、遺児の皆さんにお役にたかせたい。

(神奈川県K・Kさん)

◇

少しでも役に立てると思うと、(自分自身の)励みになります。

(愛知県Y・Nさん)

◇

今年は何日か大災害が起り、いつ何があるかわからない気持ちです。それでも日々頑張ることが大切だと思っています。

(神奈川県M・Sさん)

◇

気候が変わりやすいこの頃です。皆さまお体を大切にしてください。(神奈川県S・Eさん)

## 【3月】

交通事故の加害者にならずに送らせていただきました。皆さん、頑張ってください。

(石川県K・Eさん)

◇

桜の開花が楽しみなの季節。今年もエールを送ります。

(群馬県I・Mさん)

◇

体調管理に注意して勉強やスポーツにお励みください。

(東京都K・Mさん)

◇

母の意思を引き継ぎます。何の意味もない、と思ったことが必ず役に立ちます。

(東京都K・Sさん)

◇

学生時代、街頭に立つて寄付を募っていたのを思い出して、今回の寄付を断念しました。少額ですが、お役に立てば幸いです。

(神奈川県K・Rさん)

◇

安全運転を心がけています。3月になっても大雪が続いています。

(山口県S・Mさん)

◇

毎日穏やかに変わりなく過ごせることに感謝しています。(愛知県K・Kさん)

(福島県K・Nさん)

◇

微力ながらお力になりたいと思います。(茨城県A・Yさん)

(東京都S・Yさん)

## 株式会社ネクスティ エレクトロニクス 様

### 車載分野でトップクラスの売上規模を誇る

#### エレクトロニクス商社へ

ネクスティエレクトロニクス様は、グローバルな販売チャネルと半導体・ソフトウェアの技術力、強固なサプライチェーンや品質サポート等の機能を保有、強化されています。

## ご支援に感謝いたします

### 育英会から

「より善き社会の実現に貢献するイノベーションサイナー」を企業ビジョンに掲げ、豊かな社会づくりに貢献し、その一環として交通遺児の支援にも尽力されています。

(岡山県H・Oさん)

◇

母の意思を引き継ぎます。何の意味もない、と思ったことが必ず役に立ちます。

(東京都K・Sさん)

◇

## 桜の季節に今年もエール送ります 何事も前向きに進むと良いことが

送迎ドライバーをして

おります。ドライバーと

いう職業柄、万一の交通

事故のリスクは避けられ

ません。ドライバーとし

て責任がある以上、社会

に対して何かしらの形で

還元したいと考え、寄付

をいたします。交通遺児

育英会の活動を応援して

おります。

(埼玉県F・Tさん)

◇

学びの場や人との出会い、心躍る夢につながりますよう支援させていただきます。

(東京都S・Yさん)

◇

過去の新聞記事で会

いことがありますよ。小

## 教えて！交通事故Q&A

### (公財)日弁連交通事故相談センター ⑪

## Q

自動車に愛犬をドックランに連れて行く際、信号無視の自動車に衝突され、私にはなかったのですが、自動車に破損し、愛犬が全治3か月の骨折を負ってしまいました。加害者の保険会社は、車の修理費や愛犬の治療費を払うと言っていますが、愛犬は私にとって大切な家族です。自動車も無事故で大切に乗り続けてきた思い出のある車です。修理費や治療費だけでなく、慰謝料を請求したいと考えています。慰謝料請求は認められるのでしょうか。

(福島県・63歳男性)

## 愛車や愛犬の物損事故 慰謝料は認められるか

## A

自動車事故にただけでは償い得ないほど、身体が侵害されることによる損害を人損(じんそん)といいますが、物が滅失・破損することによる損害を物損(ぶつそん)といいます。なお、ペットは、法律上は「物」として扱われますので、ペットに生じた治療費等の損害も物損となります。物損が生じた場合、物の交換価値相当額、修理費用などの財産上の損害が賠償されれば、同時に精神的苦痛も償われたとみられることから、別途慰謝料までは認められないのが原則です。例外的に慰謝料が認められる場合には、①被害物件が被害者にとって特別の主観的・精神的価値を有する場合、②加害行為が著しく反社会的、あるいは害意を伴う場合など、単に財産的損害の賠償を認め

ただけでは償い得ないほどの甚大な精神的苦痛を被ること等の特別の事情が必要とされます。

そして、被害物件が車

両である場合には、主観

的・精神的価値があると

して慰謝料が認められる

ことはほとんどなく、何

らかの特殊な事情がある

場合になければ慰謝料は

認められにくいようです。

他方、可愛がっていた

ペットなど、被害者が特

別の愛着を抱いている場

合には、比較的慰謝料が

認められやすい傾向があ

ります。例えば、我が子の

ように愛情を注いでいた

ラブラドルレトリバー

が受傷し、後肢麻痺の症

状が残った例で、飼い主

夫婦に合計40万円の慰謝料を認められた例があります。相談者のケースでも、愛車や愛犬に関する具体的な事情によっては、慰謝料が認められる余地があるかもしれません。個々のケースでどのように対応したらよいかかわらない場合は当センターまでご相談ください。(東京弁護士会・西部俊宏)

日弁連交通事故相談センター無料相談ダイヤル

# 0120-0783-25

月～金(祝日除く)10時～16時30分(相談・通話無料、10分程度) 月・水は19時まで延長(第5週を除く)

ホームページ <https://n-tacc.or.jp/>

# 交通遺児 奨学生募集

ハンドルの重みは命の重み

高校・専修学校・各種学校 大学・大学院

《保護者の重い後遺障害も対象です》

東京都と関西に大学生・専門学校生の学生寮あり

(公財) 交通遺児育英会

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-1 平河町ビル3階  
☎ 03-3556-0773 ☎ 0120-521286  
<https://www.kotsuiji.com/>